



2025年7月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2025年6月4日

上場会社名 ティーライフ株式会社
コード番号 3172 URL <https://www.tealifeir.com/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西上 節也
問合せ先責任者 (役職名) 取締役 コーポレート本部長 (氏名) 齋藤 正和
配当支払開始予定日 — TEL 0547-46-3459
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年7月期第3四半期の連結業績(2024年8月1日～2025年4月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年7月期第3四半期	8,666	11.3	285	14.8	276	19.3	201	0.2
2024年7月期第3四半期	9,774	1.2	335	34.2	341	34.1	200	42.5

(注)包括利益 2025年7月期第3四半期 165百万円 (22.1%) 2024年7月期第3四半期 212百万円 (38.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年7月期第3四半期	47.17	—
2024年7月期第3四半期	47.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2025年7月期第3四半期	8,900	6,287	70.6	1,473.24
2024年7月期	8,985	6,286	70.0	1,474.91

(参考)自己資本 2025年7月期第3四半期 6,287百万円 2024年7月期 6,286百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年7月期	—	26.00	—	20.00	46.00
2025年7月期	—	20.00	—		
2025年7月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年 7月期の連結業績予想(2024年 8月 1日～2025年 7月31日)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,312	13.0	378	31.4	365	35.3	253	20.7	59.48

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)				
期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年7月期3Q	4,267,900 株	2024年7月期	4,262,300 株
期末自己株式数	2025年7月期3Q	224 株	2024年7月期	180 株
期中平均株式数 (四半期累計)	2025年7月期3Q	4,265,378 株	2024年7月期3Q	4,259,979 株

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格の高騰や為替の影響による物価上昇、米国の通商政策や、中国経済の減速等の不安定な状況が続いているものの、賃上げの継続傾向やインバウンド需要増等の要因により、景気は緩やかに回復基調にあります。

卸、小売業界におきましては、エネルギー価格や人件費、原材料価格の高騰による物価上昇が継続し、消費者の節約志向の高まりから個人消費の減速が懸念される等、依然として先行きが不透明な状況にあります。

このような経済環境のなか、当社グループは安定的かつ継続的な成長と企業価値の向上を目指し、「進化するウェルネス&ライフサポート企業」をビジョンとし、引き続き「Reborn! ver. 2」をスローガンとした中期経営計画の達成に向け、各事業の拡大及び利益確保に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は8,666百万円（前年同四半期比11.3%減）となりました。

損益面では、営業利益は285百万円（同14.8%減）、経常利益は276百万円（同19.3%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は201百万円（同0.2%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

前連結会計年度まで、3つの報告セグメントにて事業を展開してまいりましたが、グループ経営の効率化を図るため、セグメントの範囲について経営管理区分の見直しを行い、従来、「卸売事業」及び「小売事業」に区分されていた事業を「ウェルネス事業」に統合、従来の「プロパティ事業」の呼称を「ロジスティクス事業」に変更し、報告セグメントを3つから2つに変更することといたします。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分及び呼称に基づいて作成したものを開示しております。

なお、売上高については、セグメント間取引の調整後の数値であり、セグメント利益については、セグメント間取引の調整前の数値であります。

(ウェルネス事業)

ウェルネス事業では、テレビショッピング向けの販売では主力のヘルスケア商品に注力したほか、寝具等の新商品拡販に努めました。実店舗向け販売では各卸先に対しオリジナル商品の提案営業を推進しました。カタログ通販・EC分野向け販売では、顧客開拓の効率改善と販促規模・事業運営コストの適正化、ECモールでの拡販に取り組みました。また、米国向けEC事業や国内外の新規卸売先開拓といった今後の成長領域に積極的に投資しました。特に米国事業は、国内市場の縮小が見込まれるなか重要な新市場と位置付けており、マーケティング・商品企画・物流システム開発に投資を行っていることから、経費が先行しました。

その結果、売上面ではサプリメント類の販売が低調に推移したほか、ECモールの競合店増加に伴う競争激化等の要因により、売上高7,975百万円（前年同四半期比12.2%減）、利益面では、原材料費・配送費・外部モール手数料増などのコストプッシュ要因、さらには米国市場への先行投資に伴う経費負担により、セグメント利益139百万円（同34.7%減）となりました。

(ロジスティクス事業)

ロジスティクス事業では、袋井センター・掛川センターの安定稼働と名古屋センターの顧客開拓営業に注力した結果、売上高は690百万円（前年同四半期比0.3%減）、利益面では人件費・光熱費等のコストプッシュ要因に対応し各センターの運用改善に努め、セグメント利益は146百万円（同10.7%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、8,900百万円(前連結会計年度末比84百万円減)となりました。

流動資産の減少(同20百万円減)は、主に現金及び預金が96百万円増加したものの、未収還付法人税等、未収消費税等その他資産が120百万円減少したことによるものであります。

固定資産の減少(同62百万円減)は、主に投資有価証券が11百万円増加したものの、のれんが39百万円、建物及び構築物(純額)が30百万円減少したことによるものであります。

繰延資産の減少(同2百万円減)は、創立費及び開業費の償却を計上したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は、2,613百万円(前連結会計年度末比85百万円減)となりました。

流動負債の増加(同23百万円増)は、主に未払法人税等が83百万円減少したものの、買掛金が77百万円、賞与引当金が20百万円増加したことによるものであります。

固定負債の減少(同109百万円減)は、主に長期借入金が74百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産合計は、6,287百万円(前連結会計年度末比1百万円増)となり、この結果、自己資本比率は70.6%となりました。

純資産の増加は、主にその他有価証券評価差額金が36百万円減少したものの、利益剰余金が30百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年7月期の業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえ、2024年9月4日の決算短信で公表いたしました通期の連結業績予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日(2025年6月4日)公表いたしました「業績予想の修正及び期末配当予想の据え置きに関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,896	2,992
受取手形及び売掛金	1,014	1,012
棚卸資産	942	950
その他	302	179
貸倒引当金	△8	△8
流動資産合計	5,147	5,126
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	645	615
土地	2,429	2,429
その他（純額）	116	98
有形固定資産合計	3,191	3,143
無形固定資産		
のれん	192	153
その他	65	64
無形固定資産合計	258	217
投資その他の資産		
投資有価証券	172	183
その他	205	220
貸倒引当金	△1	△0
投資その他の資産合計	376	403
固定資産合計	3,827	3,764
繰延資産	11	9
資産合計	8,985	8,900

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年4月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	610	688
1年内返済予定の長期借入金	99	99
未払法人税等	105	21
賞与引当金	48	68
役員賞与引当金	2	-
その他	438	449
流動負債合計	1,305	1,328
固定負債		
長期借入金	919	844
退職給付に係る負債	87	86
資産除去債務	72	72
その他	314	281
固定負債合計	1,394	1,285
負債合計	2,699	2,613
純資産の部		
株主資本		
資本金	364	368
資本剰余金	334	337
利益剰余金	5,549	5,580
自己株式	△0	△0
株主資本合計	6,248	6,285
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36	0
為替換算調整勘定	0	1
その他の包括利益累計額合計	37	1
純資産合計	6,286	6,287
負債純資産合計	8,985	8,900

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

	(単位：百万円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
売上高	9,774	8,666
売上原価	6,459	5,588
売上総利益	3,314	3,078
販売費及び一般管理費	2,979	2,792
営業利益	335	285
営業外収益		
受取利息	2	4
受取配当金	0	0
為替差益	2	—
その他	6	6
営業外収益合計	11	11
営業外費用		
支払利息	1	3
為替差損	—	16
創立費償却	1	1
その他	1	0
営業外費用合計	4	21
経常利益	341	276
特別利益		
固定資産売却益	3	0
投資有価証券売却益	—	46
補助金収入	—	3
保険解約返戻金	0	—
特別利益合計	4	50
税金等調整前四半期純利益	346	326
法人税等	145	124
四半期純利益	200	201
親会社株主に帰属する四半期純利益	200	201

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
四半期純利益	200	201
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	11	△36
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益合計	11	△35
四半期包括利益	212	165
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	212	165
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

また、連結会社間における子会社株式等の売却に伴い生じた売却損益を税務上繰り延べる場合の連結財務諸表における取扱いの見直しに関連する改正については、2022年改正適用指針を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。当該会計方針の変更は遡及適用され、前年四半期及び前連結会計年度については遡及適用後の四半期連結財務諸表及び連結財務諸表となっております。これによる前年四半期の四半期連結財務諸表及び前連結会計年度の連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス 事業	ロジスティクス 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	9,081	232	9,313	—	9,313
その他の収益(注) 3	—	460	460	—	460
外部顧客への売上高	9,081	693	9,774	—	9,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13	161	174	△174	—
計	9,094	854	9,949	△174	9,774
セグメント利益	213	132	345	△10	335

(注) 1. セグメント利益の調整額△10百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位: 百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ウェルネス 事業	ロジスティクス 事業			
売上高					
顧客との契約から生じる 収益	7,975	191	8,167	—	8,167
その他の収益(注) 3	—	499	499	—	499
外部顧客への売上高	7,975	690	8,666	—	8,666
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	112	112	△112	—
計	7,975	803	8,779	△112	8,666
セグメント利益	139	146	285	△0	285

(注) 1. セグメント利益の調整額△0百万円は、セグメント間取引消去等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. その他の収益には、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号)に基づく賃貸料収入等が含まれております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅲ 報告セグメントの変更等に関する事項

当連結会計年度より、従来の報告セグメントの区分である「卸売事業」及び「小売事業」を統合し「ウェルネス事業」とし、従来のセグメント名である「プロパティ事業」を「ロジスティクス事業」に変更しております。詳細は「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (1) 経営成績に関する説明」に記載しております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、当連結会計年度の事業セグメントの区分及びセグメント名に基づき作成したものを開示しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2024年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年8月1日 至 2025年4月30日)
減価償却費	84百万円	84百万円
のれんの償却額	35	39